

【プロジェクトの概要】

本プロジェクトは、コンテンツツーリズムと地域通貨を融合することにより、地域活性化の効果と課題を検証することを目的とします。地域通貨の流通を通じて、流通量や利用者の満足度などを調査し、地域通貨を活用した観光まちづくりの可能性について調査研究を行います。

【活動報告】

●地域通貨流通実験の実施

小樽市内の14商店街が連携したイベント期間内に地域通貨の流通実験を実施しました。観光客への訴求を考慮し、キャラクターをデザインした紙幣型地域通貨TARCAを発行し、観光客や市民が商店街の飲食店などで利用しました。

●地域通貨に関する聞き取り調査

地域通貨の先進事例について、地域通貨「蓮」(門真市)、地域通貨「げんき」(寝屋川市)、こども通貨「まーぶ」(箕面市)を視察し、現状と課題、将来展望について聞き取り調査を実施しました。

【具体的な成果等】

地域通貨の流通実験では、イベント来場者およそ1000人に対して、およそ20万TARCAを発行し、およそ10万TARCAが市内の18店舗で利用されました。

これまで実施してきた電子地域通貨の流通実験と比較して、導入面では紙幣型が容易である一方、回収した紙券の流通管理に手間がかかることが分かりました。キャラクターの付加価値により、利用者の満足度が高かったものの、お土産として持ち帰る人も多く、飲食店での利用が予想よりも伸びませんでした。

また、地域通貨の先進事例に関する調査では、地域商品券、有償ボランティアの御礼、こどもの貧困からの脱却ツールと様々な活用方法が存在することが分かりました。さらに、地域通貨流通には、地域通貨事業で実施するプロジェクトの内容や達成目標が鍵となることが明らかになりました。加えて、地域通貨を利用できる店舗などの利便性や魅力などもポイントになることが分かりました。

